



三島村は、鹿児島県南西諸島の最北部に位置し、竹島・硫黄島・黒島の3島から構成されています。

三島村



みしまむら 鹿児島県三島村 大山村長が表敬訪問

6月16日(火)に鹿児島県三島村の大山辰夫村長が本市を訪れ、牛津高校ジャンベ部と江里口市長を表敬訪問されました。

同村では、西アフリカの太鼓「ジャンベ」を生かした地域づくりに取り組まれており、平成19年度には地域づくり総務大臣表彰を受賞されています。また、村内の硫黄島にはアジア唯一のジャンベスクール「みしまジャンベスクール」を開校されるなど、同村のキャッチフレーズどおり「アフリカスピリットで熱くなれる島」です。

以前、牛津高校ジャンベ部を紹介したテレビ番組を



△大山村長も参加されたジャンベの合同演奏



▲徳田健一郎校長によるジャンベのミニ講演



▲大山村長(写真左)と江里口市長(写真右)

偶然見かけられた大山村長は、「牛津高校ジャンベ部の何か力になりたい」という思いから、励ましの手紙などを送られたことをきっかけに、お互いの交流が始まり、このたびの訪問が実現しました。

牛津高校ジャンベ部の練習を見学された大山村長は、「楽しんで練習をするように、そうすれば必ず上達できます」とアドバイス。

また、同行された「みしまジャンベスクール」校長の徳田健一郎さんによるミニ講演も行われ、交流が深められました。

市内を視察後、江里口市長を表敬訪問された大山村

長は、「小城市をいろいろ見せてもらったが、自然豊かで素晴らしいところ。ジャンベを縁として、牛津高校や小城市との交流を進めていきたい」とご挨拶されました。

これに対して江里口市長は、「ジャンベは、人を元気にする音楽。こうした縁を大事にしていきたい」と述べました。

【問合せ】企画課
企画振興係(牛津庁舎)
担当 村岡
☎63-88003

元気いっぱい！園児たち

朝顔の種をまいたよ！ ～たちばな保育園～

6月の初めに、朝顔の種をまきました。土ならしや、肥料を混ぜ、小さな種に「早く顔を出してね」と願いました。双葉が出ると水やりにも一層力が入ります。畑では、さやえんどうや・玉ねぎなどの野菜作りを楽しんでいます。色とりどりの、朝顔が咲く日を心待ちにする子どもたちです。



三日月町久米1200番地 ☎73-2782

